

## インターネット議会中継の拡大案について

		拡大案1	拡大案2
概要		現行の議会中継システムを拡大し、生中継及び録画放映を実施する。	モニター放映用の映像と音声を利用して、Ustream（ユーストリーム）で生中継及び録画放映を実施する。
経費		<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入経費 180万円（概算） ※第3会議室，第5会議室に新たに導入するもの。（第2会議室には導入済み）</li> <li>・運営経費 保守管理経費が8万円程度／年，新たに発生する。 録画放映用データの配信経費が1時間当たり4,200円掛かる。 @4,200×540時間（平成23年度の5常任委員会及び予算・決算特別委員会分科会の時間数）＝226.8万円／年（概算） ＜内訳＞常任委員会：300時間 分科会：240時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入経費 135万円～195万円程度（3会議室分） ※会議室ごとに設備を導入するもの。</li> <li>・運営経費 特に発生しない。</li> </ul>
特徴・留意点等	流れる映像	モニター放映の映像（カメラ切替え，テロップ表示あり）	モニター放映の映像（カメラ切替え，テロップ表示あり）
	広告表示	表示されない。	表示される。（表示をやめた場合，少なくとも約10万円／月の経費が掛かる。）
	休憩時の画面	本会議等で配信しているとおりの画面を表示（カメラを使って何らかの情報を流すなどの方法もある。）	配信を停止すれば，真っ暗な画面が表示される。（委員会室をそのまま映し続ける方法や，カメラを使って何らかの情報を流すなどの方法もある。）
	配信の精度	本会議等で配信しているとおりの（安定）	不安定な部分があり，場合によっては，配信できず，録画放映もできないケースが発生する。
	トラブル時の対応	本会議等で配信しているとおりの（委託業者が対応）	職員のみで対応
	新たに必要となる作業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議開会時，休憩時，閉会時に，配信開始・画面切替の操作を行う。</li> <li>・録画放映用HP画面の準備及び配信前のチェックを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議開会時，休憩時，閉会時に，配信開始・停止の操作を行う。</li> </ul>

(参考)

- インターネット議会中継については，現在，本会議及び予算・決算特別委員会等（市長総括質疑）のみ生中継及び録画放映を実施している。
- 他都市等の状況
  - ・ 政令市では，さいたま市（一部の委員会のみ），相模原市，大阪市，名古屋市，神戸市で常任委員会の生中継及び録画放映を実施している。（いずれもUstream（ユーストリーム）は使用していない。）
  - ・ 関西広域連合議会においては，Ustream（ユーストリーム）で生中継を，YouTube（ユーチューブ）で録画放映を実施している。